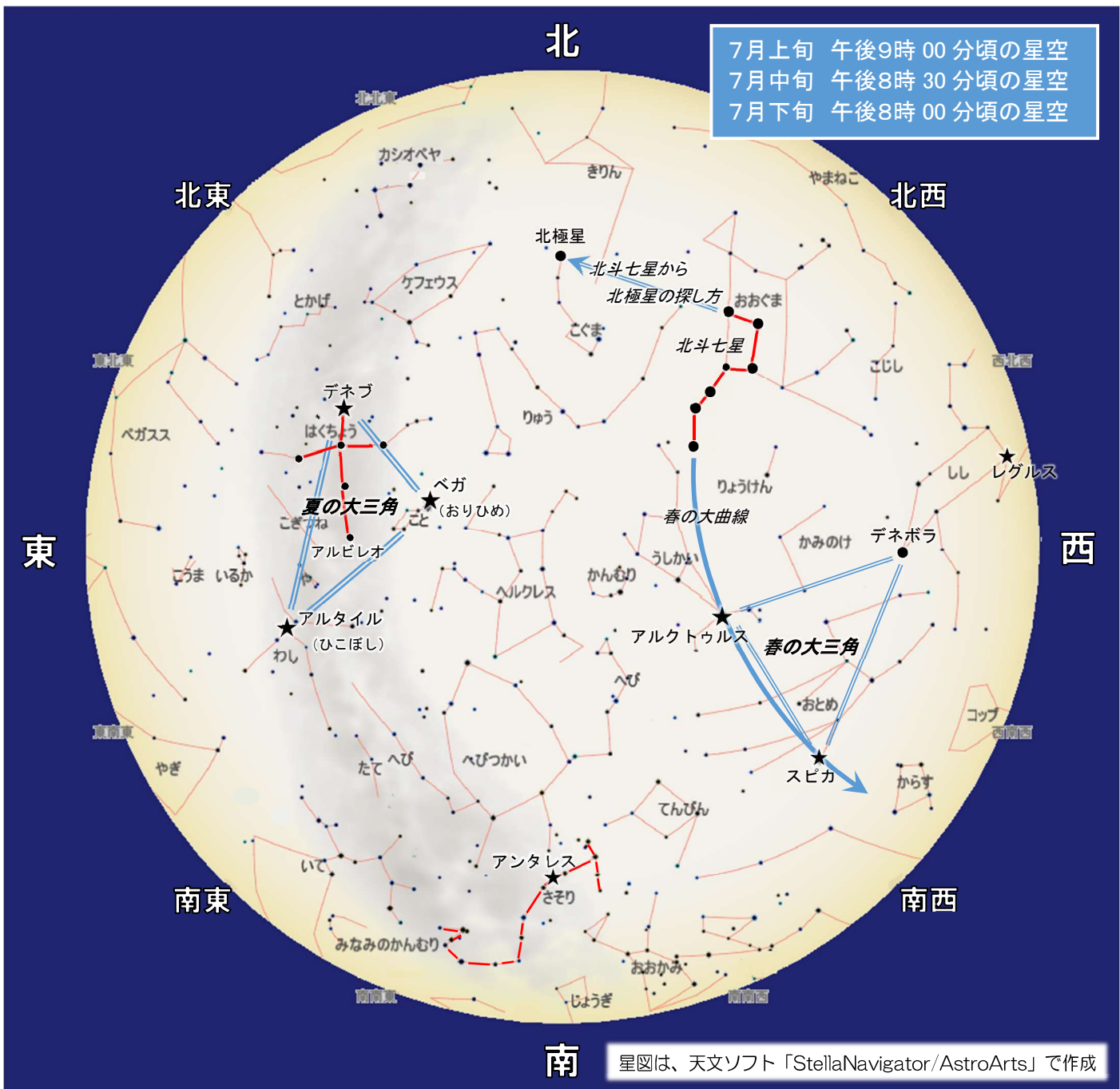


# 2022年 7月の星空案内



7月上旬 午後9時 00 分頃の星空  
 7月中旬 午後8時 30 分頃の星空  
 7月下旬 午後8時 00 分頃の星空



## 【7月の星空】

宵の空では、春から夏の星座に入れ替わる時期です。東の空から夏の天の川が昇ってきます。両岸には、七夕の「おりひめ星（こと座のベガ）」と「ひこ星（わし座のアルタイル）」が輝き、この2つの1等星に「はくちょう座のデネブ」を加えた三角形が『夏の大三角』です。残念ながら7月初めは雨の多い時期です。もともと七夕は旧暦7月7日（今年は8月4日）の行事で、こちらを「伝統的七夕」と呼びます。

南の空の低い位置に輝く赤い星は「アンタレス」、この星を中心にSの字を横にのばしたような星の並びが「さそり座」です。南の空が開けたところで見つけてみましょう。

## 【7月の惑星】

真夜中から明け方にかけて、東の空から「土星」「木星」「火星」「金星」と、惑星が次々に昇ってきます。火星は21日(木)深夜に下弦過ぎの月と接近し、北日本では月の出の直後「火星食（火星が月に隠される現象）」が見られますが、さいたま市では月が出た後に火星の出現のみ見られます。低空で観察は難しいですが、その後も月と火星が近くに並んだ姿が見られます。木星と土星は、このあと秋まで観望の好機をむかえ、火星は12月に地球に接近します。